

内堀維文 うちほり じぶん 教育家。明治五年四月十二日熊本縣玉名郡南關生れ、

昭和八年一月一日歿（八七—一九三三）。初名才平。號東村、東村居士、

東郷、東郷生、松風關守。明治二十五年熊本縣尋常師範學校を了し、

二十一年東京高等師範學校文科を首席で卒業。二十四年東京高等師範監

兼教諭。二十六年清國政府の招聘に應じ山東省師範學校に赴任し、四

十二年歸朝。爾後神奈川県・静岡縣・長野縣の各師範學校校長を歴任。

大正八年滿鐵經營の奉天中學校校長、十二年旅順工科大学豫科教授と

なり、昭和二年大東文化學院教授兼教務主任就任。

著書に、『中等漢文教授法』（明治二十六年十一月十四日金港堂書籍株

式會社）等。『内堀維文遺稿並傳』（法本義弘編、昭和十年十一月一

日内堀維文遺稿並傳刊行會）がある。



内堀維文遺稿並傳